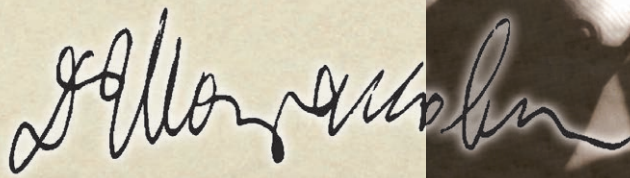


甦えるシヨスタコーヴィチ

ドミートリー・シヨスタコーヴィチ生誕110周年記念シンポジウム&コンサート

スターリン独裁下における 音楽の運命

暴力、アイロニー、熱狂、そしてユーフォリア。
人間と歴史が織りなす悲劇のドラマを渾身の力で
描きだしたロシアの作曲家ドミートリー・
シヨスタコーヴィチ（1906～1975）。
21世紀グローバル時代に入り、その存在は
ますます輝きを増しつつある。
今回、その生誕110周年を記念し、
シンポジウム&コンサートの形式をとおして、
矛盾に満ちた彼の音楽の全体像に迫る。



2016年
12月11日 日
13:00～16:45 (開場12時30分)

会場 名古屋外国語大学

701 教室 (7号館地下1階大講義室) & コミュニケーションプラザ

対象 どなたでもご自由に参加できます。入場料は無料です。

主催 名古屋外国語大学、名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター

共催 愛知ロシア音楽研究会・名古屋モーツァルト協会

Program 全体進行：梅垣昌子（名古屋外国語大学外国語学部教授）

I 701 教室

基調報告「シヨスタコーヴィチの《革命》」

亀山郁夫（名古屋外国語大学学長・WLAC センター長）

シンポジウム「熱狂・アイロニー・ユーフォリア——シヨスタコーヴィチの現代性」

青澤隆明（音楽評論家） 新井鷗子（東京藝術大学特任教授、音楽プロデューサー）

松本良一（司会 読売新聞、読売日本交響楽団） 安原雅之（愛知県立芸術大学教授）

II コミュニケーションプラザ 新井鷗子（司会）

コンサート・シヨスタコーヴィチ チェロ・ソナタ 二短調 op.40

・チャイコフスキー「四季」より「舟歌」

・ラフマニノフ「ヴォカリーズ」

トーク 「シヨスタコーヴィチの何が凄い？」 野村友紀（チェロ） 山下勝（ピアノ）

演奏者紹介



野村 友紀 チェロ

愛知県立瑞陵高校、京都市立芸術大学音楽学部卒業。2005年渡独、州立カールスルーエ音楽大学にてディプロムを、室内楽コースで国家演奏家資格を取得。

現在、名古屋市立菊里高校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部非常勤講師。

愛知ロシア音楽研究会会員



山下 勝 ピアノ

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。ミュンヘン国立音楽大学留学。

2007年名古屋音楽ベンクラブ賞、平成24年度名古屋市芸術奨励賞、受賞。

現在、名古屋芸術大学、金城学院大学、各非常勤講師。愛知ロシア音楽研究会、CBCクラブ各会員

入場
無料
要申込み

ミューズの午後

《ミューズの午後》とは？

名古屋外国語大学が、地域連携を目的として主に週末の午後に定期的に開くコンサートの名称です。本コンサートでは、主として東海地方で活躍するアーティストの演奏をお届けします。年に4回ほどの開催を企画しており、今回のシンポジウム&コンサートは、その記念すべき第一回目の企画です。

ドミートリー・ショスタコーヴィチ生誕 110 周年記念シンポジウム&コンサート

甦えるショスタコーヴィチ

今年2016年は、20世紀ロシア音楽を代表する作曲家ドミートリー・ショスタコーヴィチの生誕110周年の記念すべき年に当たる。かつては、ソビエト体制下において御用作曲家の烙印を押されたショスタコーヴィチだが、今日、彼の音楽が持つ高度に複雑化された内面性に注目が集まり、20世紀の世界を代表する作曲家と称えられるとともに、欧米、日本のクラシック音楽界でも、ベートーヴェン、マーラーに匹敵する人気作曲家として年を追うごとに演奏の頻度が高まっている。名古屋外国語大学主催《ミューズの午後》マチネー・コンサートの一環として今回開催されるシンポジウム&コンサートでは、チェロ界若手のホープ野村友紀氏、およびピアニスト山下勝氏をお迎えし、ショスタコーヴィチの音楽に耳を傾けながら、20世紀のロシア音楽における政治権力と芸術の関係性、ショスタコーヴィチ音楽の魅力さらにはその現代性をめぐって議論する。



青澤 隆明

音楽評論家

東京外国語大学英米語学科卒。「レコード芸術」、「音楽の友」ほかの紙誌に寄稿。著書に「現代のピアニスト30 — アリアと変奏」(ちくま新書)、ヴァレリー・アフアナシエフとの「ピアニストは語る」(講談社現代新書)など。



新井 鷗子

東京藝術大学特任教授、音楽プロデューサー

東京藝術大学楽理科・作曲科卒業。NHK教育番組の構成で国際エミー賞入選。N響や読響のコンサート、「題名のない音楽会」等の構成を手がける。著書に「おはなしクラシック」、「頭のいい子が育つクラシック名曲45」等。



松本 良一

読売新聞、読売日本交響楽団

慶応大学文学部卒業後、読売新聞社に入社。地方部、経済部などを経て、文化部でクラシック音楽の取材を担当。現在、読売日本交響楽団勤務。著書(部分執筆)に「一柳慧 現代音楽を超えて」(平凡社)。



安原 雅之

愛知県立芸術大学教授

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修了。その後、インディアナ大学で音楽学、ロシア・ソヴィエト学、およびオルガンを学ぶ。メリー・ボルドウィン・カレッジ(米ヴァージニア州)非常勤講師、山口大学教育学部助教授を経て、現在、愛知県立芸術大学音楽学部教授。



亀山 郁夫

名古屋外国語大学学長。ロシア文学者。主著「礎のロシア」(大佛次郎賞)、「謎解き『悪霊』」(読売文学賞)、訳書「カラマーゾフの兄弟」(プーシキン賞)。「チャイコフスキーがなぜか好き」他。

申込み方法

右記 QR コードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか下記 URL をパソコン等で直接入力し、申込みのフォームに必要事項を入力・送信してください。

当日参加もできますが、準備の都合がありますので、お申込みをお願いいたします。https://req.qubo.jp/wlac/form/20161211

(メールまたは F A X でもお申込みいただけます。)

氏名、電話番号、12月11日(日)イベント参加希望の旨を明記の上、下記お問合せ先までお送りください。)



本学へのアクセスについて

当日、駐車場の数には限りがございますので、できるだけ公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。

● お問い合わせ

名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター Tel : 0561-74-1111 (代表) Fax : 0561-75-1723 メールアドレス : wlac_gg@nufs.ac.jp

